

事業所名	希望の丘豊橋（児童発達支援）				支援プログラム	作成日	2024年	12月	3日
法人（事業所）理念	子どもたちは遊びを通してたくさんの方の事を学んでいきます。子どもたちの力を信じて時には見守り、時には仲立ちをし、一人ひとりの気持ちや発達に寄り添う支援を大切にしています。感性を育てることに力を入れ、子どもだけでなく職員も心が動く経験をたくさん持つように意識しています。子どもも保護者も職員も『共に育つ』が法人の理念です。								
支援方針	小集団を活かし、職員やお友達との実際の関わりを通して、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルの向上を目指します。職員が設定する活動もありますが、子どもたちが主体的に遊びを選び、挑戦できる環境を大切にしています。苦手なことの底上げより、一人ひとりの得意を見つけ、伸ばして自信を育てる支援をしています。								
営業時間	平日 土曜日	9時 9時	00分 00分	から から	15時 13時	00分 00分	まで まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時に健康チェック（体温測定や視診、保護者からの聞き取り）を行います。自分でも体調の変化に気付けるように、その時の体調を代弁して本人へ伝え返すこともしていきます。</li> <li>・室内、戸外ともにのびのびと過ごせる環境にあります。施設裏にある希望の森や少し歩いた先にある農園に出向き、自然に触れながら身体をたくさん使って遊びます。</li> <li>・身辺自立（排泄、食事、着脱などの自立）に向けて個々の発達を把握し、その子に合った支援をスモールステップで行います。その際に補助ツールが必要であれば作成します。</li> <li>・借りたい自立課題のカードを自分で選んで借りに行き、遊び終わったら片付けて返します。自立課題の内容だけでなく、貸し借りも含めて最初から最後まで主体的に取り組みます。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノを用いて“さくら・さくらんぼ”のリズム遊びを定期的に行っています。リズム遊びをしている子どもたちの様子から個々の発達を知り、どのリズム遊びを取り入れるかをその都度考え発達を促していきます。年齢の小さい子にはふれあい遊びを中心に心の安定や感覚機能を育みます。</li> <li>・室内に様々な器具を設置してサーキット遊びを行います。身体全体を動かすだけでなく、足裏を刺激するシートも並べます。能力に応じて補助を行い、できた達成感に繋がります。</li> <li>・それぞれの感覚特性に寄り添い安心して過ごすことができるよう、全体ではなく個々に合わせた環境調整等を行います。食事の際は、必要に応じて姿勢保持ツールを活用します。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な素材を用いて様々な感触あそびをします。（小麦粉粘土、パン粉粘土、土粘土、寒天、片栗粉、スライム、氷絵の具、テクスチャーアートなど）</li> <li>・空き箱などの廃材から、様々な形、色、素材に出会えます。全く同じというものが少ない廃材の良さを活かして、子どもたちの想像力と創造力を引き出します。（見立て遊び、ごっこ遊び、製作遊びなどから、観察力、ひらめき、思考力、判断力、道具の操作性等につなげます）</li> <li>・屋外遊戯場や施設裏側にある森に積極的に出向き、自然に触れることで感性や想像力を刺激したり探索活動を通して知的好奇心を高めたりします。</li> </ul>							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活、遊び、散歩などで“初めて”を発見した子どもたちの感動に寄り添い「〇〇だね」と言葉を添えていきます。</li> <li>・他者との遊びや活動を通して『見て！』『伝えたい！』などの気持ちを引き出し、共同注意などコミュニケーションの向上に必要な力を育てます。</li> <li>・言語だけでなく非言語コミュニケーション、絵カードコミュニケーションなどを用いて子どもたちの感情や意思などを汲み取ったり共感したりすることで、伝わる嬉しさや伝える意欲、伝わった安心感につなげます。発信に限らず子どもたちが受け取るツールとしても言語以外のコミュニケーションを活用していきます。</li> </ul>							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員との信頼関係を基盤として、近くにいるお友達やお友達がしている遊びに興味を持ち、関わったり真似をしたりできるよう仲立ちをしていきます。</li> <li>・見立て遊びや模倣遊びをお友達と一緒に楽しみます。役割分担をしたり遊びの中で様々なコミュニケーションを取ったりすることで対人関係や社会性を育みます。</li> <li>・集団活動に参加ができない子に対しては理由を探し、時間や人数、活動内容などを個々に合わせて調整することで、参加に対するハードルを下げます。自分に合った方法で参加をする中で、楽しさや参加ができた嬉しさを持ち、次への意欲に繋がります。また、失敗や思い通りにいかない場面につづった時の気持ちのコントロール方法も一緒に考えていきます。</li> </ul>							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児に関わらず、きょうだい児に対しての相談も随時行っています。送迎の際や日時を設けての相談など、保護者のご希望に沿って対応いたします。</li> <li>・土曜日を中心に、レスパイトを目的とした利用も受け入れていきます。</li> <li>・土曜日に不定期でイベント開所を行っています。利用児だけでなくご家族で参加していただくことで、家族でふれあいながら楽しい時間を過ごしていただいています。（同時に保護者交流会も行っています）</li> </ul>				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児が通う園と連携を取り、情報共有や支援方法の確認等を行います。保護者の相談も、内容に応じて三者（または相談員を加えた四者）で行えるよう話し合いの場を設けます。</li> <li>・園とつながっていない利用児が入園できるよう調整を行い、入園先の園へ情報提供や相談援助を行います。</li> <li>・就学先の小学校へ、引き継ぎなど必要な情報提供を行います。</li> </ul>			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望が丘子育て支援センターへ行き、地域の親子と触れ合える機会を作ります。また、逆に受け入れを行うことで事業所のことを知ってもらったり事業所内でも子どもたち同士が関わられるようにします。</li> <li>・希望が丘ふれあいセンター合同の避難訓練を行います。実際の震災に備え、避難方法や備蓄品の確認なども行っています。</li> <li>・利用児に関わる全ての関係機関と必要に応じて情報共有を行います。</li> </ul>				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が受けたと思う研修の資料提供をし、積極的に研修に参加できる機会を作っています。また、事業所運営に必要な研修も、外部研修や施設内研修によって受けられるようにしています。</li> <li>・法人の関連施設（児童発達支援、放課後等デイサービス、こども園、児童クラブ）に研修に行きます。関連施設からの研修も積極的に受け入れ、体験や話し合いを通して相互的に職員の資質向上を目指します。</li> </ul>			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児のご家族（兄弟児も含む）参加型のイベントや保護者交流会 年4～5回程度</li> <li>・イベント時：製作遊びで作った作品やその時の様子（ドキュメンテーション）の展示</li> <li>・避難訓練 年2回以上（内1回は総合訓練）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとの行事</li> <li>・散歩</li> <li>・お誕生日おめでとう</li> </ul>				